

細 則	4
関係条項	第 4 条

固定注油設備を用いて、移動タンク(容量 2000ℓ 以下ごとに仕切られた 4000ℓ 以下のタンク)に注入(荷積み)を行う給油取扱所

(安全対策)

第1条 固定注油設備を用いて、移動タンク(容量 2000ℓ 以下ごとに仕切られた 4000ℓ 以下のタンク)に注入(荷積み)を行う給油取扱所における安全対策は、次によるものとする。

- (1) 灯油又は軽油を移動タンクに注入する場合は、固定注油設備を用いること。
- (2) 移動タンクが注油空地からはみ出たまま注入行為を行わないこと。また、移動タンクのエンジンが停止及びパーキングブレーキが操作されていることを確認するまでは、注入行為を行わないこと
- (3) 保安監督者は、消防法に基づく許可を受けた移動タンクに注入するときは、移動タンクの乗務員の危険物取扱者の免状及び当該移動タンクの消防法に基づく完成検査済証を確認すること。
- (4) 保安監督者は、火災予防条例に規定する少量危険物を貯蔵する移動タンクに注入するときは、移動タンクの常置場所を管轄する消防機関に提出された届出書(少量危険物貯蔵取扱届出書)を確認すること。
- (5) 移動タンクへの注入行為は、危険物取扱者免状を受けている者が行い、絶対にその場を離れてはならない。
- (6) 危険物取扱者は、移動タンクの底弁が閉鎖していることを確認するまでは、注入行為をしてはならない。
- (7) 危険物取扱者は、静電気による火災を防止するため、移動タンクを接地(アース)するまでは、注入行為をしてはならない。
- (8) 移動タンクの許可又は少量危険物届出の数量を超える注入をしてはならない。
- (9) 移動タンクの上部(マンホール)から軽油又は灯油を注入する場合は、注入管を用いること。
また、注入管の先端はタンク底部に着けること。
- (10) 注入中に軽油又は灯油が漏れ、溢れ又は飛散した場合は、直ちに、漏れ等した危険物を除去、清掃等の措置を行うこと。
- (11) 危険物取扱者は、注入後、直ちに固定注油設備のポンプを停止すること。
- (12) 危険物取扱者は、注入後に移動タンクの上部マンホール及び底弁の閉鎖状況を確認すること。
- (13) 保安監督者は、注入行為に際し危険物取扱者等の作業員が、消防法令及びこの予防規程の内容に違反する行為を認めたときは、直ちに注入行為を停止させ安全を確保すること。
また、違反の再発を防止するため、当該作業員に対し必要な保安教育を行うこと。